

大里赤煉瓦食市

2月23日(金・祝)

門司区 門司赤煉瓦プレイス

大里赤煉瓦食市では、北九州のご当地グルメが大集合しました。ボランティアは会場内のテーブルの消毒や清掃、駐車場の案内、総合受付などをして、イベントを支えました。



○ 私は、地元のイベントにボランティアとして初めて参加しました。ボランティアの仕事は、ゴミ拾いとテーブル拭き、くじ引きを担当しました。大里赤煉瓦食市に参加するのが久しぶりで、最後に参加したのは小学生の時でした。だから、懐かしく感じると同時に、小学生の時を思い出すと、食べている時に私達が落としたゴミを拾ってくれる人がいた気がします。その時は、何も思いませんでした。今回のボランティアで自分がその立場になって、来ている人達が気持ちよくご飯を食べられるようにゴミが落ちていたら拾ったり、ゴミを回収しに回ったりしました。今後、人に気を遣うことを忘れずに過ごしたいと思いました。

【門司大翔館高校 2年】

3月**祝町ニコニコ春まつり**

3月2日(土)

八幡東区 祝町市民センター



青少年ボランティアは、祝町市民センターの春まつりで、キッズコーナーや催し物、食事バザーなどのお手伝いをしました。



○ 私は最初に抽選券を渡す係でした。最初は、とても渡す時に緊張して声をかけられませんでした。市民センターの人が「お昼から抽選会があります」と教えていただいて、少しずつ声をかけることができました。学生ボランティアは、私を含め3人しかいなかったの、抽選券を配り終えたら他の人の活動を手伝うことができました。人見知りな私が一人一人に声をかけるのは緊張したけど、最後までやり遂げることができたので良かったです。

【折尾愛真高校 1年】

PTA子どもフェスタ「多世代交流未来カフェ」

【A】3月3日(日) 門司区 三宜楼

【B】3月20日(水・祝) 八幡西区 三菱ケミカル

子どもフェスタでは、職業体験やPTAバザーブースやステージなど、いろいろな企画があります。青少年ボランティアは、カフェスタイルで小学生や中学生と少し先の未来について語り合ったり、会場内の誘導を行ったりしました。



○ 今回初めてボランティア活動に参加させて頂きました。初めは、周りの方とコミュニケーションを取りながら、運営できるのか不安と緊張を感じていました。けれども、皆さんとても気さくな方で、すぐに打ち解けることができ、色々な年代の方とたくさん交流することができました。自分自身、話したことのない方に自分から話しかけるのが得意な方ではありませんでしたが、今回のボランティアを通して、多くの人に自分から話しかけるという経験をしたことで苦手を克服することができたのではないかなと思います。今回、このボランティアに参加させていただき、誠にありがとうございました。この経験を今後活かしていきたいです。

【産業医科大学 5年】

北九州ラーメン王座選手権

3月16日(土)、17日(日)

門司区 門司港レトロ中央広場

青少年ボランティアは、会場準備、チケット販売、店の手伝い、ゴミや容器の回収、投票の世話などをしてイベント運営に関わりました。



○ ずっと立ちっぱなしで悪天候だったので、きつかったです。ですが、お客さんの中で「大変だけど頑張ってるね」と言ってくれる人がいてくれて、嬉しくて頑張ることができました。頑張ったのでめちゃくちゃ終わった後に、達成感を感じることができました。

【北筑高校 2年】

○ 本日は、このような機会をくださりありがとうございました。これまでは、地域のイベントなど小さなイベントしか参加してこなかったけど、今回、大型イベントのボランティアに参加できたのは、いい経験になりました。投票所での活動は、たくさんのお客さんと関わったり、集計したりと単純な作業だったけど、コミュニケーション力や臨機応変に対応する力など、多くのことが必要だと感じました。選手権自体も、雨の中、自分が想像していたより、はるかに多くの人に来ていて正直驚きました。ボランティアを含め、多くの関係者や出店団体、実行委員の皆さんがそれぞれの場所で仕事をこなすことで、大きなイベントが成功できたと思います。イベントを運営することの難しさやラーメンを食べてお客様が喜んでくれたり、イベントが成功したりした時の達成感を少しだけ感じる事ができました。ありがとうございました。次回のボランティアもお願いします。

【戸畑高校 1年】

○ 今回初めて長時間のボランティアに参加させていただきました。私の担当はスープ係でした。食べ終わったスープと残飯を仕分けする仕事だったのですが、正直、最初は汚いと思い嫌悪感を抱いていました。しかし、作業に慣れてくるとスムーズに動けるようになり、自分が門司港の衛生に貢献できているのだと考えるようになって誇りをもって仕事をすることができました。とても大変でしたが、いつもこれほど多くのボランティアの方が働いてくださっていたのだと気付けたことを自分がこの立場になって初めて知ることができて感謝で一杯になりました。より沢山の方や地域に貢献できるよう、もっとたくさん参加したいと感じました。

【九州国際大学付属高校 3年】

平尾台クロスカントリー2024

3月17日(日)

小倉南区 「ソラランド平尾台」及びその周辺

平尾台クロスカントリーでは、約800名のランナーが早春のカルスト台地を駆け抜けました。ボランティアは、選手に声援を送るとともに、受付や完走賞渡し、計測タグの回収等の運営補助をしました。



○ 今回のボランティアを通して、イベントやスポーツ大会などの裏ではたくさんの方が動いていて成り立っているということをもっと実感することができました。スムーズに進行されていることが当たり前ではなく、ボランティアの人や交通整理の方、イベントのスタッフなどがいることで成り立っていることをイベント参加者にもっと知って欲しいなと思いました。このボランティアを通して、スタッフなどの関係者の仕事のきつさを知っているからこそ、積極的にボランティアに参加しようと思いました。

【小倉南高校 1年】